周辺的反義語の性質
― 標準的反義語との関連からの考察 ―

清　海　節　子

1. はじめに

意味が反対の語の組み合わせは, 反対語, 対義語, 反義語などと呼ばれる。[1] 本論では, 対立する意味の二語の組み合わせの総称として「反義語」を用いる。また, 標準的な反義語として取り扱われない二語が, ある種の対立があるため, 反義性を帯びたと感じられる二語の組み合わせを周辺的反義語と呼ぶ。本論の目的は, 周辺的な反義語の性質を明らかにするために, 標準的な反義語との関係から考察することである。一括りで理解されるべきか, または, タイプに分けられるのかについて検討していく。便宜上, 本稿では, 対比された２項は, [A－B] のように表記される。

反義語は, 相対する意味であると言っても, 無関係の意味で成り立つのではなく, 共有する意味要素が多く含まれている。また, 反義語といっても, 標準的なものから, 周辺的であるとみなされるものまで, 性質が一律ではない。例えば, [良い－悪い] [白－黒] [上－下]は反義語の規範的な例と考えられるが, [普通－悪い] [赤－青] [上－中] などは, そうでないと感じられる。意味的に反対の組み合わせの中でも, [rich－poor] ([金持ちの－貧乏な]) は反義語であるが, [affluent－broke] ([裕福な－文無しの])は, 一般的に反義語とは言えない。同様に, [large－small] [big－little] は, 通常反義語として成り立つ一方で, [large－little]は, あまり良い反義語とは言えない。Murphy (2003:10) によると, 標準的ではない反義語は, 一般的でなく, 文脈依存的である。そして, 標準的な反義語と, そうではない反義語は, 完全に分けられることはなく, 境界線がはっきりとはせず, 標準的かどうかと決めることも必ずしも可能ではないと述べている。[2]

本研究は, 一般的に反義語とみなされる二語を標準的反義語（‘canonical antonyms’) と捉え, 一般的ではないが, 反義語のような対立的要素が感じられる二語を周辺的反義語 (‘peripheral antonyms’) と呼ぶことにする。即ち, 周辺反義語は, 反義語として成立する語がもつ典型的な性質を持ち合わせないが, 反義語に準じて対比されている場合や, 特定の二語が慣用的に用いられるにつれて反義性を帯びたと感じられる組み合わせである。例えば, [うれしい － つらい] [寄る－避ける] [山－川] [たて－よこ] [和室－洋室]等のように対比された二語は標準的でなく, 周辺的であり, 反義語として扱うこともできるが, いわゆる一般的な反義語から離れた性質の組み合わせである。反義語関連の辞典[3] によると, [うれしい－つらい] という対立はなく, [うれしい－かなしい / せつない], [つらい－楽しい] が標準的な反義語であり, また, [寄る－ 避ける] という対立もなく, [寄る－引く] または [寄る－ 離れる/ 散る] が標準的な反義語としての組み合わせである。[うれしい－つらい] などのような二語は, 類義語として扱うことが可能ではあるが, 本稿では, 周辺的反義語とみなし, 反義性との関連から検討する。

以下, 第２節では, 文学の中での反義語を取り上げ, 標準的であるか, 周辺的であるかについて検討する。第３節では, 周辺的反義語の捉え方を辞典と先行研究を参考に確認する。第４節では, 周辺的反義語の性質について考察する。第５節では, 結論が述べられる。

2. 文学の中の反義語

清海 (2011) では, 二段なぞの中で矛盾が取り込まれている場合に, しばしば反義語が使用されていることに注目した。『新版ことば遊び辞典』(1981) を見ると, 日本のなぞなぞには,「寒くなる程あつくなる物ナーニ（答え：氷)」「食う時の食わぬ物の食わぬ時に食う物はナニ（答え：魚つりの弁当)」「昼は短くて夜になれば長くなるもの(答え:ちょうちん)」「昼

は休んで夜働くもの（答え：泥坊）」などがあり，これらは，[寒いー暑い] [食うー食わぬ] [昼ー夜] [短いー長い] [休むー働く] という標準的な反義語で矛盾を表現している。以下では，標準的及び周辺的な反義語が文学作品に用いられた例をいくつか取り上げる。最初にシェイクスピアの戯曲『マクベス』，次にディケンズの『二都物語』，そして太宰治の『人間失格』，最後に『百人一首』の順に見ていく。

2.1『マクベス』

シェイクスピアの四大悲劇の一つの *Macbeth*（『マクベス』）では，第一幕第一場の最後に三人の魔女が言う台詞 'Fair is foul, and foul is fair'「きれいは穢(きたな)い，穢(きたな)いはきれい」（福田恆存訳）が有名である。英語の 'fair'（きれい）と 'foul'（きたない）は，標準的な反義語で，頭韻を踏んでいる。最初の子音の 'f' を共有しながら，反対の意味 [きれいーきたない] を表すことで，反義関係が強調されているようである。日本語訳も両語の最初が「き」で始まる形容詞で訳されている。また，第一幕第三場にマクベスが登場し，最初に言う台詞の 'So foul and fair a day I have not seen'「こんないやな，めでたい日もない」（福田恆存訳）でも，'fair' と 'foul' の対立がある。両語とも多義語であるので，この場合は，[いやなーめでたい] という反義語で訳されている。

2.2『二都物語』

ディケンズの *A Tale of Two Cities*（『二都物語』）の最初の部分の反義語を考えることにする。Jones (2002: 5) は，以下のように反義語を多用することで，混乱や矛盾する状況を効果的に表現していると述べている。その部分の日本語訳を以下に紹介する。反義語関係の 18 語には下線を施した。

> それはすべての時世の中で最もよい時世でもあれば，すべての時世の中で最も悪い時世でもあった。叡智の時代でもあれば，痴愚の時代でもあった。信仰の時期でもあれば，懐疑の時期でもあった。光明の時節でもあれば，暗黒の時節でもあった。希望の春でもあれば，絶望の冬でもあった。人々の前にはあらゆるものがあるのでもあれば，人々の前には何一つないのでもあった。人々は皆真直に天国へ行きつつあるのでもあれば，人々は皆真直にその反対の道を行きつつあるのでもあった。――要するに，その時代は，当時の最も口やかましい権威者たちのある者が，善かれ悪しかれ最大級の比較法でのみ解さるべき時代であると主張したほど，現代と似ていたのであった。（1936 佐々木直次郎 訳 下線は引用者）

下線部で示されるように 9 ペアの対比が見られるが，反義語の部分のみを英語と日本語で確認しよう。

(1) best「最も良い」— worst「最も悪い」
wisdom「叡智」— foolishness「痴愚」
belief「信仰」— incredulity「懐疑」
Light「光明」— Darkness「黒」
spring「春」— winter「冬」
hope「希望」— despair「絶望」
everything「あらゆるもの」— nothing「何一つ」
Heaven「天国」— the other way「その反対の道」
for good「善かれ」— for evil「悪しかれ」

(1)の反義語のペアは，「相補語 ('complementaries')」を表現しようとしている印象を受ける。つまり，A でなければ，B しかない関係であり，中間が存在しないかのように受け取れる。唯一「天国」の反義語は，[heaven ー hell]（天国ー地獄）が一般的であるが，それ以外は，二語の対立が分かりやすく，標準的な反義語とみなすことが可能である。

2.3『人間失格』

森岡 (2008: 45-46) は，序で，太宰治 (1988) の『人間失格』「第三の手記」の第二節から，主人公と悪友の堀木が反義語の遊びをする場面を取り上げ，同義語との関係性についてのヒントを提供しているのではないかと論じている。以下，ほとんど森岡が取り上げている部分であるが，もう一度，注意深く確認していきたい。まず，「喜劇名詞」と「悲劇名詞」と

いう一種の言葉遊びをしている部分を以下に紹介する。

自分たちはその時, 喜劇名詞, 悲劇名詞の当てっこをはじめました。これは, 自分の発明した遊戯で, 名詞には, すべて男性名詞, 女性名詞, 中性名詞などの別があるけれども, それと同時に, 喜劇名詞, 悲劇名詞の区別があって然(しか)るべきだ, たとえば, 汽船と汽車はいずれも悲劇名詞で, 市電とバスは, いずれも喜劇名詞, なぜそうなのか, それのわからぬ者は芸術を談ずるに足らん, 喜劇に一個でも悲劇名詞をさしはさんでいる劇作家は, 既にそれだけで落第, 悲劇の場合もまた然り, といったようなわけなのでした。
「いいかい？　煙草は？」
と自分が問います。
「トラ。(悲劇(トラジデイ)の略)」
と堀木が言下に答えます。
「薬は？」
「粉薬(こなぐすり)かい？　丸薬(がんやく)かい？」
「注射。」
「トラ。」
「そうかな？　ホルモン注射もあるしねえ。」
「いや, 断然トラだ。針が第一, お前, 立派なトラじゃないか。」
「よし, 負けて置こう。しかし, 君, 薬や医者はね, あれで案外, コメ(喜劇(コメデイ)の略)なんだぜ。死は？」
「コメ。牧師も和尚(おしょう)も然りじゃね。」
「大出来。そうして, 生はトラだなあ。」
「ちがう。それも, コメ。」
「いや, それでは, 何でもかでも皆コメになってしまう。ではね, もう一つおたずねするが, 漫画家は？　よもや, コメとは言えませんでしょう？」
「トラ, トラ。大悲劇名詞！」
「なんだ, 大トラは君のほうだぜ。」
こんな, 下手な駄洒落(だじゃれ)みたいな事になってしまっては, つまらないのですけど, しかし自分たちはその遊戯を, 世界のサロンにもかつて存しなかった頗(すこぶ)る気のきいたものだと得意がっていたのでした。（太宰　1988: 105-106）

「喜劇名詞」と「悲劇名詞」との対立は, 反義語 [喜劇ー悲劇] そのものである。太宰が上で述べている例を「喜劇」と「悲劇」のそれぞれに当てはまる語をまとめると以下のようになる。

(2) 悲劇 --- 汽船と汽車　煙草　注射　漫画家
　　喜劇 --- 市電とバス　薬　医者　牧師　和尚　死　生

「悲劇」と「喜劇」とは対立しているが, なぜ汽船と汽車が悲劇名詞で, 市電とバスが喜劇名詞であるというなど, 一般的には分かりにくい。漫画家が悲劇名詞で, 医者, 牧師, 和尚が喜劇名詞であるというのも, 一種の皮肉と捉えることもできるかもしれないが, 一般的な常識からは説明がつかない。つまり, これらの名詞の例から, 反義語 [喜劇ー悲劇] を連想することは無理であろう。太宰は, 上の続きに, 次のような反義語を当てる話に繋げていく。

またもう一つ, これに似た遊戯を当時, 自分は発明していました。それは, 対義語(アントニム)の当てっこでした。黒のアント（対義語(アントニム)の略)は, 白。けれども, 白のアントは, 赤。赤のアントは, 黒。
「花のアントは？」
と自分が問うと, 堀木は口を曲げて考え,
「ええっと, 花月という料理屋があったから, 月だ。」
「いや, それはアントになっていない。むしろ, 同義語(シノニム)だ。星と菫(すみれ)だって, シノニムじゃないか。アントでない。」
「わかった, それはね, 蜂(はち)だ。」
「ハチ？」
「牡丹(ぼたん)に,……蟻(あり)か？」「なあんだ, それは画題(モチイフ)だ。ごまかしちゃいけない。」
「わかった！　花にむら雲,……」
「月にむら雲だろう。」
「そう, そう。花に風。風だ。花のアントは, 風。」
「まずいなあ, それは浪花節(なにわぶし)の文句じゃないか。

おさとが知れるぜ。」
「いや, 琵琶(びわ)だ。」
「なおいけない。花のアントは……およそこの世で最も花らしくないもの, それを挙げるべきだ。」
「だから, その, ……待てよ, なあんだ, 女か。」
「ついでに, 女のシノニムは？」
「臓物。」
「君は, どうも, 詩(ポエジイ)を知らんね。それじゃあ, 臓物のアントは？」
「牛乳。」　　（太宰 1988: 106-108）

上の本文では, 色については, [黒ー白] [白ー赤] [赤ー黒] という循環的な反義語が述べられる。次に「花」に対して, いろいろな候補が出るが, 最後に [花ー女] という反義語に落ち着く。そして,「女」と「臓物」が同義語であるということで, [臓物ー牛乳] という反義語が言われる。最初の色の対比の組み合わせは, 標準的反義語だと言えるだろうが, [花ー女] と[臓物ー牛乳] はかなり独特な対比で, 周辺的な反義語とさえも言えないであろう。

次に主人公が軽薄な堀木という友人と「罪のアントニム」は何かについて議論が始まる。堀木は,「罪」の反義語は「法律さ」と平然というので, 主人公が同意しないと, 堀木は「じゃあ, なんだい, 神か？」, また「善さ」などと軽く言う。主人公は, 正面からの議論ができずに, 以下を独り言のように言うのである。

「しかし, 牢屋(ろうや)にいれられる事だけが罪じゃないんだ。罪のアントがわかれば, 罪の実体もつかめるような気がするんだけど, ……神, ……救い, ……愛, ……光, ……しかし, 神にはサタンというアントがあるし, 救いのアントは苦悩だろうし, 愛には憎しみ, 光には闇というアントがあり, 善には悪, 罪と祈り, 罪と悔(く)い, 罪と告白, 罪と, ……ああ, みんなシノニムだ, 罪の対語は何だ。」
（中略）
罪と罰。ドストイエフスキイ。ちらとそれが, 頭脳の片隅をかすめて通り, はっと思いました。もしも, あのドスト氏が, 罪と罰をシノニムと考えず, アントニムとして置き並べたものとしたら？　罪と罰, 絶対に相通(あいい)ぜざるもの, 氷炭(ひょうたん)相容れざるもの。罪と罰をアントとして考えたドストの青みどろ, 腐った池, 乱麻(らんま)の奥底の, ……ああ , わかりかけた , いや , まだ ,……
（太宰 198: 110ー111）

上の文の中には, [神ーサタン] [愛ー憎しみ] [光ー闇] 等, 標準的な反義語が挙げられている。しかし, 注目するべき点は,「罪」と「罰」を同義語（類義語）としても反義語とも捉えられる可能性を述べているところである。『広辞苑 第七版』によると「罪」の２番目の意味は,「社会の規範・風俗・道徳などに反した, 悪行・過失・災禍など。また, その行いによって受ける罰」であり,「罪」と「罰」は同義語であることになる。一方, 反義語辞典の中では,『反対語対照語辞典』だけであるが,「罪」の項に, [罪ー罰] があげられている。[4] このことは, 元来同義語（類義語）であった二語（「罪」と「罰」）が, 対比される内に, 反義性を帯びたと考えられるかもしれない。

2.4　『百人一首』

清海 (2018) は, 抽象概念に基づく森岡 (2008) の分類を参考に,『百人一首』で用いられている反義語の用例について考察した。和歌が対象で, 創造的な反義語も含まれるため, 全体的に基準を緩やかにした。基本的には, 辞書に記載されている語を検討することにしたが, 同時に, 反義性が含意されて対比された語も除外することはしなかった。その結果, 調査では, 100 首中 40 首に反義語が用いられていると考えられた。[自分ー他人/ 相手] 等の人間関係の対立が11首にあり, また動詞の反義語も11首にある一方で, 形状性概念は２首のみであった。40 首の中の典型的な反義語, 周辺的反義語の例, 反義性が含蓄されている例などは, その都度指摘したが, 創造的な反義語と周辺的な反義語についてはその違いを明確にしなかった。創造的反義語は, 周辺的反義語の一部と考えられる。しかしながら, これらはある程度区別することも可能ではないかと思われる。そこで, 以

下では，標準的な反義語の例，周辺的な反義語の例，創造的な反義語の例を各 4 例挙げる。以下，反義語には下線が施されている。また，各歌の下には，鈴木(他) (2012) を参考に歌の意味を書き入れた。矢印の後には，反義語についての説明がされている。

(3)　標準的反義語

(i)「わが庵は 都のたつみ しかぞ住む 世をうぢ山と 人はいふなり」

（私の庵は 都の東南にあって，このように心のどかに暮らしている。だのに，私がこの世をつらいと思って逃れ住んでいる宇治山だと，世間の人は言っているようだ。）

→「わ」と「人」が，[私ー世間の人々] という反義語として用いられている。

(ii)「明けぬれば 暮るるものとは 知りながら なほうらめしき 朝ぼらけかな」

（夜が明けてしまうと，やがて日が暮れ，あなたにまた逢うことができるとはわかっているものの，それでもやはり恨めしい夜明けですよ。）

→「明(あ)く」(夜が明ける) と「暮(く)る」(日が暮れる) は，現代語では[明けるー暮れる] となり，標準的な反義語である。

(iii)「これやこの 行くも　帰るも 別れては 知るも知らぬも 逢坂の関」

（これがあの、これから旅立つ人も帰る人も、知ってる人も知らない人も、別れてはまた逢(あ)うという逢坂(おうさか)の関なのですよ。）

→「行くー 帰る」は，語彙が異なる [相対性対立] である。また「知るー知らぬ」は，語基が同じ [肯定ー否定] の反義語である。

(iv)「みかきもり　衛士のたく火の / 夜は燃え 昼は消えつつ 物をこそ思へ 」

（御垣守である衛士のたく火が，夜は燃えては昼は消えているように私も夜は恋の炎に身をこがしては昼は消え入るように沈みこむことを繰り返すばかりで，物思いに悩むほかはないのだ。）

→　[夜ー昼] の対比があるだけでなく，[燃えるー消える] は，異なる語彙から成る相対的対立である。

(4)　周辺的反義語

(i)「春過ぎて 夏来にけらし 白妙の 衣干すてふ 天の香具山」

（春が過ぎて夏が来てしまっているらしい。夏になると真っ白な衣を干すという天の香具山なのだから。）

→[春ー夏] の対立は，標準的ではないが，対立が可能なので周辺的反義語とみなす。[5)]

(ii)「今来むと いひしばかりに 長月の 有明の月を待ち出(い)でつるかな」

（今すぐに来ようとあの人が言ってきたばっかりに，九月の夜長を待ち続けているうちに有明の月が出てきてしまったことだ。）

→「来る」と「出(い)でる」の対立は，現代語では [来るー出る] である。「来る」と「出る」は逆方向の動作を表すと考えられる。しかし，反義語辞典では「来る」の反義語は「行く / 去る / 帰る」，「出る」の反義語は「入る」である。従って，[来るー出る] は標準的とは言えず，周辺的な反義語である。

(iii)「月みれば 千々に物こそ 悲しけれ 我が身ひとつの 秋にはあらねど」大江千里

（月を見ると，あれこれと際限なく物事が悲しく思われるなあ。私一人だけの秋ではないけれども。）

→「千々」と「ひとつ」つまり，[1000ー 1] の対立がある。『新全訳古語辞典 』によると，「千々」は「ちぢなり」という形容動詞で「たいへん数が多い」と「さまざまだ」いう二つの意味があり，この歌では，後者を表現している。また「ひとつ」は，名詞として 8 種類の意味があるが，その内の最後の意味は ，この歌のように，体言に付き，接尾語的に用いて「～だけ。唯一。限定・強調を表す」と説明されている。従って，歌の中の「ひとつ」に対しては，「千々」は「さまざまだ」でも「数が多い」という意味でも対立して捉えられる。つまり，[一つ(だけ)ー多数] という対立で，辞書にはないが，周辺的な反義語と考えられないだろうか。反義語辞典の中では，『三省堂反対語対立語辞典』だけではあるが，[一ー多]

という二語の対立が挙げられている。

(iv)「 滝の音は 絶えて久しく なりぬれど 名こそ流れて なほ聞こえけれ」

(滝の水音は聞こえなくなってから長い年月がたってしまったけれども，その名声だけは流れ伝わって，今でもやはり聞こえてくることだ。)

→「絶ゆ（絶える）」は「なくなる / 途絶える」の意味で，「流る（流れる）」は「次第に広まる」を表す。「絶える」の反義語は，「続く」や「つながる」で「広まる」の反義語は「狭まる」である。従って標準的な反義語ではないが，[無くなる－広まる] の関係は，ある程度の対比が含まれると感じられるため，周辺的な反義語とみなす。

(5)　創造的反義語

(i)「かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける」

(かささぎが翼をつらねて渡したという橋――宮中の御階(みはし)に おりている霜が白いのを見るともう夜も更けてしまったのだった)

→「白き」に対して「夜」が「黒」を連想させることから，[白－黒] の対立が含蓄されている。

(ii)「夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを 雲のいづこに 月宿るらむ」

(夏の夜は，まだ宵のままと思っているうちに明けてしまったので，いったい雲のどのあたりに月は宿をとっているのだろうか。)

→「雲」と「月」の対比は，[好ましくないもの－好ましいもの] という象徴的対立関係が読み取れる。

(iii)「 花さそふ 嵐の庭の 雪ならで ふり行くものは 我が身なりけり」

(花を誘って散らす嵐の吹く嵐の庭は，雪のように花が降(ふ)りくるが，実は雪でなく，真に古りゆく (年取る) ものは，このわが身なのだった。)

→「花」は桜を指し，春の季語である。「雪」は冬の季語である。[春－冬] という (周辺的) 反義語を連想させる語の対立が含蓄されている。

(iv)「百敷(ももしき)や 古き軒端(のきば)の しのぶにも なほあまりある 昔なりけり」

(宮中の古びた軒端の忍ぶ草を見るにつけても，しのんでもしのびつくせないものは，昔のよき御代なのだった。)

→「百敷(ももしき)」は宮中や内裏を意味し，「軒端(のきば)」は皇居の軒を指すことから，[中－外 (端)] という反義性が含まれていると解釈できる。

以上,12 首だけであるが，標準的，周辺的，創造的の三分類にした結果，問題なく分けることができた。周辺的な反義語は，差こそあれ，標準的な反義語との間で語彙レベルでの関連性が観察された。また，創造的反義語は，語彙レベルではなく，連想，象徴というような概念レベルで，間接的にではあるが反義性が感じとられる性質の組み合わせであると言える。しかしながら，創造的反義語は，独立した性質というより，周辺的反義語に属すると考える方が自然である。その理由は，連想や象徴の基になっているのは，一対の語であり，語彙レベルとは間接的に関連していることになる。従って，以下でも，反義語を「標準的反義語」と「周辺的反義語(創造的反義語を含む)」という対立として検討する。

2.5　まとめ

2.1–2.4 では，『マクベス』，『二都物語』，『人間失格』，『百人一首』の順で文学作品の反義語を観察した。『マクベス』と『二都物語』は，ほぼ標準的な反義語だけが用いられていたが，『人間失格』では，周辺的反義語と認められないレベルの独特な組み合わせが反義語として扱われていた。また，『百人一首』では，反義語を，標準的，周辺的，創造的と三分類してみたところ，周辺的な反義語は，標準的な反義語と語彙レベルでの関係性が認められるが，創造的な反義語は，標準的な反義語とは概念レベルでの対立があるとみなされた。しかし，創造的反義語は，周辺的反義語に含まれると考え，反義語は，「標準的」と「周辺的」に分けることを提案した。

3.　標準的反義語と周辺的反義語

「周辺的反義語」は，対比されて表現される二語で，標準的でない性質であると上で述べた。この節では，

標準的な反義語と周辺的な反義語の捉え方について, 最初に標準的な反義語の３タイプを確認し, 次に, 辞典レベルで周辺的な反義語について考える。次に, Cruse(1986), 国広(2002), 村木(2005, 2008), 山田(2015) を参考にして, 標準的な反義語と周辺的な反義語の区別について検討する。

3.1 反義語の分類

清海 (2018: 43) でも指摘したように, 学者の間で反義語の分類方法や名称が一定でないが, 一般的に, 相補性, 段階的, 方向性に基づく反義語が中核を成すと考えられる。Lyons (1977), Leech (1981), 池上 (1982), Cruse (1986) を参考にすると, 以下のような３タイプが標準的な反義語になる。

(6) i) 相補的 (‘complementaries’)
一方の否定が他方の肯定の関係になる対立：
二項は独立し , 連続性がない。
例：[女性ー男性] [出席ー欠席] [等しいー異なる]
ii) 段階的 (‘antonyms’)
連続した尺度に基づき, 境界線がない対立：
一方の否定が必ずしも他方の肯定にはならない。
例：[長いー短い] [古いー新しい] [深いー浅い]
iii) 方向的 (‘directional opposition’)
ある種の方向性に関連する対立語：
正反対, 反転, 逆関係などがある。
例:[行くー来る] [上ー下] [昇るー落ちる](反転)

周辺的反義語は, 上のいずれのタイプにも属さない場合もあるが, 上との間接的な関係性が見出される場合もある。Cruse (1986:198) は, 以下のように述べている。

> In spite of the robustness of the ordinary speaker’s intuitions concerning opposites, the overall class is not a well-defined one, and its adequate characterization is far from easy. One can distinguish, however, central or prototypical, instances judged by informants to be good examples of the category: *good: bad, large: small, true: false, top: bottom,* etc.; and more or less peripheral examples, judged as less good, or about whose status as opposites there is not a perfect consensus, such as command : *obey, mother : father, town : country, clergy : laity,* etc.

反対語にかんして一般的な話者の直感は確固としたものにもかかわらず, 全体の種類が明確に定義されていないので, 十分に特徴付けることは, けっして容易だとはいえない。しかし, 人々は, 次の２種類を区別することができる。つまり, このカテゴリーの良い例だと話者が判断し, 中心的, または, 典型的な例（*良い：悪い, 大きい：小さい, 正しい：間違った , 頂上位：最下位* 他）と, 多かれ少なかれ周辺的な例で, あまり良くないと判断されたか, 反対語であるという見解が完全には一致していない例（*命令する : 従う, 母 : 父, 都会 : 田舎, 聖職者 : 一般信徒* 他）を区別できるのである。(訳：清海)

また, 話者によっては, [紅茶ーコーヒー] や, [ガスー電気] でさえも反義性が感じられこともあるが, それは, ２項から選択する場合のみであると Cruse は指摘している。

3.2 辞典での周辺反義語の扱い

ここでは, 『三省堂反対語対立語辞典』(2017) と『活用自在反対語対照語辞典』(2006) を参考にし, 標準的な反義語と周辺的な反義語の違いを検討する。『三省堂反対語対立語辞典』(2017) では, 以下のように６分類されているが, (7iii) と最後のグループ (7vi) に相当する例が周辺的な反義語と考えられる。

(7) i)「不・非・無・反・未」などの付く語と元の語（例 : [自由ー不自由]）
ii) 二者のうちいずれかである物（例 : [あるーない] [表ー裏] [既刊ー未刊])
iii) 認識上, 物事を成り立たせている二つの要

素（例 :[心ー体] [時間ー空間] ）

iv) 並・普通であること, 中央・現在などの起点を挟む, 相対的・対称的な概念
（例 : [長いー短い] [過度ー適度] [好むー嫌う] [悲観ー楽観])

v) 相互の役割や機能, 始まりと終わり, 動きの方向, 主従など, 逆の関係にある物事
（例 : [相手ー自分] [売るー買う] [問いー答え] [主食ー副食])

vi) その他, 一般に対比的・対照的に慣用されるさまざまな組み合わせ
（例 : [アクセルーブレーキ][学生ー社会人] [泣くー笑う] [和式ー洋式])

上の (7i)～(7v) をよく見ると, (7iii) 以外は, 対立する逆の意味関係が明らかに存在する。しかし (7i) は, さまざまな組み合わせになるので, 他の場合とは同じようには扱えない。例えば「不」という接頭辞を考えると, [可能ー不可能], [自然ー不自然], [利益ー不利益] など二語の対比があるものと, *[満ー不満], *[況ー不況], *[足ー不足] のように,「不」がない語と組んで反義語にはならない場合があり, その場合,[満足ー不満] [好況ー不況]というように他の語で補うか, [過剰ー不足] のように対立語を別の語にしなければならない。(7ii) は標準的な反義語で, (6i) に相当する相補的な反義語である。(7iv) も標準的で, (6ii) のような段階的な反義語だと考えられる。同様に,(7v) は, (6iii) の方向的な反義語であると言える。従って, (7iii) [心ー体] などの認識上での二つの要素, そして, [学生ー社会人] のような慣用的な対比 (7vi) ([実社会に出ていない学生ー実社会で働く人] というように「実社会」に関係するかしないかという対立がある）が周辺的な反義語であると考えられるのではないだろうか。

一方,『活用自在反対語対照語辞典』(2006) は,「反対語」「対義語」と呼ばれる関係の語を「反対語・対照語」とし, 以下の基準を用いている。最後の基準 (8vi) は, 対立関係の不明確であるため除外されることになっているが, 周辺反義語とみなすことも可能であろう。

(8) i) 一方の言葉を否定すると他方の言葉の意味になるような対立関係にある語
例 : [表ー裏]

ii) ある中間的な基点をはさんで対称の位置にあるような対立関係にある語
例 : [昨日ー明日] [暑いー寒い]

iii) 意味の方向性が互いに逆向きになる対立関係にある語。あるいは連続的でありながら, 程度や段階によって互いに逆向きになる対立関係にある語
例 : [勝つー負ける] [重いー軽い]

iv) 対照的な意味として, あるいは対となる語としてとらえられ, 二語が対照・対比され, あるいは対峙するような関係にある語
例 : [先生ー生徒] [戦争ー平和]

v) 語の意味のうえではかならずしも 1 対 1 の対立関係にはないが, 一つのまとまった関連語として鼎立（三語）あるいは四立（四語）し, 相互に対比される関係にある語
例 : [感性ー悟性ー理性]

vi) 一見反対語あるいは対照語のようでありながら対立関係の不明確なもの, あるいはむしろ類義語の範疇に入るようなもの, さらに「反ー」「非ー」「不ー」「無ー」などの否定的な接頭辞のついた語のうち熟語または反対語・対照語として慣用されないものは, 原則として除外した。
例 : [椅子ー机] [月ーすっぽん] [日本語ー非日本語]

上の 6 種類の分類の中, (8i) は標準的な反義語で, (6i) に相当する相補的な反義語である。(8ii) (8iii) は, 段階的及び方向的反義語が含まれる。また ,(8iv) の [先生ー生徒] は, 方向的であるが, [戦争ー平和] は, [国同士が武力で争うことー争いがなく穏やかであること], つまり, [争いがあるー争いがない] と対立しているので, 戦争でなければ, 平和と考えることもできるため, 相補的な反義語と考えられる。そして, (8v) の例では, [感性ー理性] として, 直感的で思考によらない感性に対して, 思考で判断するのが理性であり, 相補的とも捉えられるので, 標準的反義語とみ

なされる。一方, (8vi) は, 標準的でないが, その中でも何らかの反義性が感じられる組み合わせは, 周辺的な性質の反義語として捉えることが可能である。例えば [椅子ー机] より, [月ーすっぽん] の方が周辺的な反義語と考えられる可能性が高い。その理由は, 後者が, [上等なものー下等なもの] を象徴的に表しているからである。[6] また, [日本語ー非日本語] は, 慣用的には用いられないが, [日本語であることー日本語でないこと] としての対立が明らかであるので, 周辺的な性質とみなすことができる。その点, [椅子ー机] は, 椅子と机との二語間で, 意味の対立が希薄であるため, 反義語としてよりも類義語として扱うべきであろう。[7]

以上２種類の辞典を参考にすると, 周辺的な性質の反義語とは, (7iii) [心ー体] など認識上での二つの要素, [学生ー社会人]のような慣用的な対比 (7vi), また, [月ーすっぽん] のように対立関係の不明確なものや, 否定的な接頭辞が付加された語の対立で, (8vi) [日本語ー非日本語]のように慣用的に使われない組み合わせである。これらに共通することは何であろうか。認識上での二つの要素 ([心ー体]) 以外は, 何らかの反義性が容易に認められる：[学生ー社会人] (実社会と無関係↔実社会と関係), [月ーすっぽん] (上等なもの↔下等なもの), [日本語ー非日本語](日本語であること↔日本語でないこと)。それでは, 認識上での二つの要素 [心ー体] についてもう少し考えてみよう。「こころ」を『広辞苑 第七版』で調べると , 第一の意味として「人間の精神作用のもとになるもの。また, その作用」とあり, その中の７つの意味の最初に「知識・感情・意志の総体。『からだ』に対する」とある。 一般的にわれわれは, 人間として生きるには, 体と心の二つの要素が必要であると考えている。体は有形で目に見えるが, それに対して, 心は目に見えなく, 実体のないという対立がある。即ち, [心ー体]には, (実体のない ↔ 実体がある) という意味の対立が認められるので, 反義語のように感じられるのではないだろうか。以上から言えることは, 周辺的反義語には, 語彙レベルではなく, 概念レベルでの意味の対立がみられる例を含むということである。

3.3 Cruse (1986)

Cruse (1986: 257-264) は, 反義語の対立 (‘opposition’) の性質について 非両立性(‘incompatibility’) の特別な例であると述べている。つまり共下位の関係が非両立であることで, 例えば,「長い」と「短い」がその関係である。あるモノが同時に,「短い」そして「長い」ということはあり得ないからである。しかし,「犬」と「猫」の間の関係とは違っている。真の意味での反義語の典型的な性質は, その関係に於いて必然的な二つの組み合わせ (‘ineluctable two-ness’)である。[白ー黒] は, 他の色彩語では, 作り出せない自然な二語の組み合わせである。もう一つの本質的な要素は, 二項の方向的対立が反義語の中核をなしていることで, その対立が潜在的 (‘latent’) ではなく, ある程度はっきり (‘patent’) としたものでなくてはならないことである。多分これは, 程度の問題であるので, 対立がよりはっきりとしていればいるほど, 二項の対立が反義語としてより良い例となるだろうと述べている。

さらに「良い」対立について次の３点が指摘されている。第一に, 一次元の尺度が認識され易く, その尺度に対立する語が対称的に配置されていることである。従って, [workーplay] (仕事ー遊び)や [townーcountry] (都会ー田舎)が比較的弱い反義語である理由は, 関連する次元, または軸となるものを定めることが難しいからである。第二に, 対立の純粋さといえるものであり, 基底にある対立によって, 対立されている語のどれくらいの意味が使われているかである。割合が多ければ多いほど対立が強く感じられるので, 例えば, [fatherーmother] (父ー 母)は, [manーwoman] (男ー女)より弱い反義語である。そして, 逆に, [manーwoman] は, [maleー female](男性(の)ー女性(の))より弱い。同様に, [giantー drawf](巨人ー小人) と [shoutーwhisper] (叫びー囁き) は, [largeーsmall] (広いー狭い) と [loudーsoft] (騒々しいー穏やかな) より強くなく対比されている。第三には, 良い対立の二語は, 命題でない意味 (‘non-propositional meaning’) に関しても, 厳密に一致しなければならない。故に, [tubbyーemaciated] (ずんぐりしたーやつれた)が方向的対立を含んでいても十分に満足

いくような反義語でないことが説明できる。[8)]

3.4　国広 (2002)

国広(2002)は,類義語と反義語を区別することは,語彙体系の中だけで語義関係を考える語彙的関係と,具体的な場面や文脈の中で語の関係を考える場面的関係との違いから検討するべきであると述べている。語彙的には,類義・反義の関係になくても,場面的に類義・反義の関係になることがよくあると指摘している。例えば,「犬や猫を飼うのはいいが,世話が大変だ」というときの,犬と猫は,愛玩動物として類義的であるが,「犬が好きですか,猫が好きですか」という質問では,犬と猫は,反義語（[犬ー猫]）として働いていると考えている。

国広は,総称語として「対義」を用い,次のように４つに下位区分している。

(9) (i) 反対関係 --- 何らかの意味で語義の一部が逆方向・対立的性質を持つ
(片方の否定が必ずしも他方を意味しない（「部屋を出なかった」は「部屋にはいった」を意味しない。)
例：[出るーはいる] [嬉しいー悲しい] [保守的ー革新的] [戦争ー平和]

(ii) 反義関係
1) 両極的反義（片方の否定が他方を指すもの）
例：[あるーない] [出席ー欠席] [おもてーうら]
2) 連続的反義（反義語のあいだが程度差をもって繋がっている連続的反義
例：[長いー短い] [遠いー近い] [深いー浅い]
[古いー新しい] [明るいー暗い]
[重いー軽い] [おいしいーまずい]
[はやいーおそい]

(iii) 逆義関係 --- [売るー買う] のように両者が同時に成立する場合
(単一の出来事が存在し,関与する二人のどちらの視点に置くかでどちらかを選ぶ。片方の否定で,他方も否定される。)
例：[売るー買う] [あげるーもらう]
[勝つー負ける] [輸出ー輸入]
([親ー子] [夫ー妻]: 出来事でなく人間関係もここに属すと考える。)

(iv) 対立関係 --- 空間的に対立する関係
例：「東・西・南・北」
([東ー西] [南ー北] が対立する。)

上の４種類の分類を標準的反義語の３タイプに当てはめると,(9i) は方向的,(9ii)は,相補的,段階的で,(9iii) は方向的,また,(9iv)は,周辺的な反義語になるだろう。Lyons (1977: 286) も,[夏ー冬] [北ー南],A~Z（連続）また,曜日（循環的）などは,「多重排除」('multiple incompatibility')であり,周辺的な反義語とされている。

国広（2002:168-169) は,対義語の諸問題として,三項以上から成立する系列関係に言及している。「春・夏・秋・冬」「過去・現在・未来」「朝・昼・晩」「金・銀・銅」「気体・液体・固体」「優・良・可・不可」等であるが,語彙体系として対義関係があるとは言えないと述べている。しかし,これらは,語彙体系の中だけでなく,具体的な場面や文脈の中では,対義語になりうる。例えば,[夏学期ー冬学期],[金モクセイー銀モクセイ] のように系列中の二語が対義を成すことがある。同様のことが,二次元的体系をなす語についても言えると主張している。例として,「山」とその上下左右に位置すると考えられる「野・谷・海・川」との語彙関係では,場面に応じて [野ー山] [山ー海] [山ー川] [山ー谷] という対義語をなす。さらに,日本語の基本的色名「赤・青・白・黒」は,場面に応じて,[赤ー白] [白ー黒] [赤ー青][9)] という対義語として使用される。[10)] 国広は,「‥このような場面的対義を認めるならば,認めない場合に出てくるかもしれないような,『山』はどの語と対義をなすのが一番ふつうなのか,というような不毛な議論を避けることができよう（国広2002:169）」と述べている。換言すると,国広は,三項以上から成立する系列関係の「春・夏・秋・冬」等や,二次元的体系をなす「野・谷・海・川」や基本的色名は,コンテクスト次第で,さまざまな組み合わせの対義語が成立すると考えている。従って,このように対比された二語は,周辺的な反義語とみなすことができるのではないか。

3.5 村木 (2005, 2008)

村木（2002, 2008）は, 対義語, または, 反義対という語を用いて論じているが, 以下「反義語」を用いることにする。村木（2002: 65-68）は, 次のように７つのタイプに分けている。

(10) (i) 相補関係に基づく反義語
例：[男ー女] [上ー下] [出勤ー欠勤]
[(抽選に) あたるーはずれる]
(ii) 両極性に基づく反義語
例： [北極ー南極] [最高ー最低] [開会ー閉会] [はじまるーおわる]
(iii) 程度性をもつ反義語
例：[重いー軽い] [広いー狭い] [安全なー危険な][きれいなーきたない]
(iv) 反照関係に基づく反義語
例： [上り坂ー下り坂] [入口ー出口] [売るー買う][ことづけるーことづかる]
(v) たがいに相手を前提とした反義語
例：[親ー子 (ども)] [先生ー生徒]
[加害者ー被害者] [本店ー支店]
(vi) 変化に関する反義語
例：[あがるーさがる] [つくー離れる]
[むすぶーほどく] [生産ー破壊]
(vii) 開いた反義語
例：[和室ー洋室] [両手ー片手]
[水平ー垂直] [落語ー漫才]

上の７タイプを (6) の標準的反義語の３タイプに当てはめると, (10i) は相補的, (10iii) は段階的で, (10ii) (10iv) (10v) (10vi) は, 方向的な反義語に分類されるだろう。最後の (10vii)「開いた反義語」は, 周辺的反義語であると考えられるかもしれない。村木 (2002: 68) によると,「開いた反義語」は, 物事の二つの側面が, 繰り返し対比されることで, 文脈から離れても二値性・両極性が容認されることである。対象物が二つだけの場合, または, 典型的な二つのものが比べられると我々は反義性を感じると述べている。例として, 部屋のタイプを「和室」と「洋室」と二語で代表して表現することから, われわれが両極性を読み取ることになるという。しかしながら, [和室ー洋室] は, [男ー女] のような相補的な関係ではない。

村木 (2008: 86, 92) は,「開いた反義語」を次の５種に分けている:「二値性」「全体ー部分」「二側面」「文脈依存 」「慣用句」。村木の例を対応する種類にまとめてみると, 以下のようになる。

(11) (i)「二値性」---- [和室ー洋室] [都会ー田舎]
(ii)「全体ー部分」---- [全体ー部分] [往復ー片道] [両手ー片手]
(iii)「二側面」---- [たてーよこ] [水平ー垂直], [一般ー特殊]
(iv)「文脈依存」---- [落語ー漫才（落語は好きだが漫才は嫌いだ)] [見るー聞く（見ると聞くでは大きな違いがある)]
(v) 「慣用句」---- [晴れるーふさぐ（気が晴れるー気がふさぐ)] [おるーおしむ（骨をおるー骨をおしむ)]

上の例の中で,(11i) ー (11iii) は, 語レベルの関係で, あたかも相補的な反義語のように感じるが, 実際には, そうではない。「二側面」の例の [たてーよこ] は, 空間を二つの側面で切り取って対立させることで, われわれは両極性を読み取るが, 標準的な反義語の例 [男ー女] とは異なり, 二つの内どちらかしか成り立たないというものではない。(11iv) は, コンテクストなしの単語間での反義性が認めにくいし, 一方, (11v) は, 慣用句に含まれる対立であり, [晴れる―ふさぐ] は, 反義性が認められないと述べている。

以上から, 村木の提示する5種類の開かれた反義語の中で,「二値性」「全体ー部分」「二側面」は, 周辺的反義語と考えることが自然であろうが,「文脈依存」と「慣用句」は, 語レベルから間接的に対立する意味が含蓄されるとは思われないので, 周辺的反義語として捉えるべきではないと提言したい。

3.6 山田 (2015)

山田 (2015) は , 典型的でない反義語で, 文化的背景を持つ「文化的反義語」を提案している。山田は,

(6) で示したような従来の反義語の三分類[11] の他に, 新しいカテゴリーとして,「文化的反義語」を提案している。アメリカのスーパーのレジで聞かれる 'Paper or plastic?'（「紙袋かビニール袋のどちらがよろしいですか」）や 'Cash or charge?'（「現金とクレジットカードのどちらにしますか」）では, [紙袋ービニール袋] [現金ークレジットカード] が文化的反義語の例とされている。山田によると,『新英語学辞典』(1982) がこれら３分類に当てはまらない例として, [townーcountry] [アカーシロ] を「文化的に定義された反義語」を挙げていると指摘している。また, Hofmann (1933: 40) はアメリカ人にとって, [mountainーvalley](山ー谷) が日本人には, [山ー海] となるだろうし, 文化的な背景が反義語と関連していると述べている。さらに, Cruse (1986:198, 2000:167) では, [teaーcoffee] (紅茶ーコーヒー) [gasーelectricity] (ガスー電気)を 'accidental opposites'（偶然の対立）と呼び,本質的な根拠はないが, 話者によっては, 対立した二語と認識されることもあるが, それは, 二つの選択だけという状況下に限られる。山田は,村木 (2008) の「開いた反義語」(例 [和室ー洋室]）にも言及している。このような従来の三分類に当てはまらない反義語で, 文化的な背景をもつものを「文化的反義語」と呼び, 次のように定義している (山田 2015: 154)。

(12) 文化的反義語とは, 元来は下位語としての多項非両立性 ('multiple imcompatibility') の関係にある２語が実際の言語使用で選択肢がその二つに限定され, あたかも相補的な反義語のように扱われる例

例えば, 飲み物には, 紅茶, コーヒー, ミルク, ココアなど多項目存在するが, その内, 状況によって, 二者選択の関係になった時, 二項対立 ('binary opposition') を示す反義語のようになる。このような状況は, 飛行機の機内食の最後の飲み物など, 現実世間と係り, コンテクスト依存で語用論的要素が多いと述べている。文化的反義語の分類として,「一般的対立」,「 国内レベル」,「ローカルな対立」, という三つのレベルを想定している。「一般的対立」は, 国際的に通用するレベルで, 例えば , 航空便の [国内線ー国際線] が挙げられる。「国内レベル」の対立は, 特定の言語文化圏で通用する例を指し, 例えば, イギリスの政治での[Conservativeー Labour] (保守党(の)ー労働党(の)), アメリカ政治では, [Democratー Republican] (民主党(の)ー共和党(の))という対立がある。「ローカルな対立」は, アメリカのワシントンDCの住民の心の中での [ワシントンDCーニューヨーク] が例 に 挙げられている。それは, ワシントンDC に住む人々は, 政治の中心地である地元に誇りをもっているが, ビジネスの中心地のニューヨークに対抗意識を持っているということからこの対立がある。

山田 (2015: 158) は, 文化的反義語の特徴は, コンテクスト依存で, 文化的背景の知識のスキーマを構成している要素とみなしている。しかし英語圏でもバリエーションがあり, ファーストフード店の「店内で召し上がりますか, 持ち帰りですか」という二者選択の表現が, アメリカでは, 'For here or to go' または 'To stay or to go' であるが, イギリスでは, 'For here or take away' が一般的であると指摘している。[12]

他の英語の文化的反義語の例として, [kidーboy] (子供ー少年), [medicalーrecreational] (医療用ー嗜好用：アメリカの州レベルの大麻使用) [13], [go homeーface arrest] (祖国に帰るー逮捕される：イギリスの不法滞在移民に関して)が挙げられている。さらに日本語の定型表現 [行ってきますーただいま] [いただきますーごちそうさま] [おはようーおやすみ] 等が, 文化的反義語の候補となるという。これらは, ものごとの最初と最後を区切る対極的な表現で, 方向性反義語の中の両対極反義語（例：[始めー終わり]）と類似していると述べている。さらに, 専門用語もコンテクスト依存であるとして, ローカルレベルでの対立と考えられ,（応用）言語学の分野からの例 [accuracyーfluency] (正確さ–流暢さ), [competenceー performance] (言語能力 –言語運用)を挙げている。これらは, 反義語として通常の辞書に記述されないが, その理由は, この専門用語がその分野のディスコースに限り有効な二項対立となるからだと説明

している。

山田は, 反義語の典型例（プロトタイプ）を「基本的反義語」('canonical antonym'[14]) と呼び, 認知度の高く辞書に記載され, (6) の３タイプのいずれかに属すのに対し, 文化的反義語は, 周辺部に位置すると考えている。そして英語の 'white' の反義語ネットワークを Jones et al (2012) を参照して以下のようにまとめている (山田 2015: 165)。

(13) 'white'「白」の反義語ネットワーク
[white－black] (白－黒)：as canonical antonyms (基本的反義語として)
[white－red] (白－赤)：in the context of wine (ワインのコンテクストで)
[white－green] (白－緑)：in the context of asparagus (アスパラガスのコンテクストで)
[white－brown] (白－茶)：in the context of bread & rice (パン・コメのコンテクストで)

上では,基本的二項対立の[白－黒] があるが, 残りは, 周辺的な文化的反義語で, その使用が特定のコンテクストに限定される傾向がある。山田は, このネットワークを図式化することも試みている。文化的反義語は, ことばとその背後にある文化のつながりを示す典型例であり, 文化を読み解くキーワードとなると結んでいる。

以上, 山田の文化的反義語について概観した。山田は, 文化的反義語を基本的反義語ではなく, 周辺的反義語とみなし, コンテクストに限定されやすく, 文化とのつながりを表現していると説明している。ここで, 留意するべきことは, コンテクスト依存をどこまで許容するかという点である。制限なしに文化面を優先することは, 純粋な語の対立を超えてしまう恐れがある。即ち, ことばの意味の対立がなくても, 何らかの文化的コンテクストにあるだけで, 反義語（反対の意味）として認めることになってしまう。二語が対比されていても, 意味に反対の要素が存在しない場合, 基本的な反義語の周辺に位置すると考えるのは, 不自然ではないだろうか。

3.7 まとめ

3.1-3.6では, 標準的な反義語と周辺的な反義語の区別について検討した。標準的な反義語の３タイプを確認した後, 辞典での周辺的な反義語を扱い, 概念レベルで対比されていることが分かった。次に, 反義語の典型的な性質について, Cruse (1986) を参照した。さらに, 国広 (2002), 村木 (2005, 2008), 山田 (2015) の先行研究から, 標準的な反義語と周辺的な反義語の区別について検討した。国広 (2002) は, 三項以上の系列関係や二次元的体系は, コンテクスト次第で, さまざまな対義語が成立すると述べているが, それらは周辺的な反義語であると考えられる。村木 (2005, 2008) は, 標準的でない反義語を「開いた反義語」と呼び, 5種類に分類している。また, 山田 (2015) は, 標準的でない反義語として, コンテクスト依存の文化的反義語を提案している。

4. 考察

周辺的な反義語の性質について, 標準的な反義語との関連から探る試みをしてきた。まず, 2.4 で『百人一首』の反義語を, 標準的, 周辺的, 創造的という三分類に分けることができた。周辺的反義語と標準的な反義語は, 語彙レベルで関連しているが, 創造的反義語は, 概念レベルでの対立があるとみなされた。しかし, 創造的反義語の連想や象徴の基になっているのは, 一対の語であり, 語彙レベルとは間接的に関連している。従って, 周辺的反義語に属すると考える方が自然なので, 反義語は,「標準的」と「周辺的」に分けることを提案した。

Cruse (1986)は, 反義語の対立('opposition') の性質について説明し, 本質的要素は, その関係に於いて必然的な二つの組み合わせ ('ineluctable two-ness') であることと, 二項の方向的対立が必要であり, その対立がある程度はっきり ('patent') としたものでなくてはならないと述べている。さらに, 典型的な反義語になるためには, 一次元の尺度が認識され易いこと, 対立が純粋であること, 対立の二語が命題でない意味についても厳密に一致することが大切な要素であると示している。

国広 (2002) は, 三項以上から成立する系列関係の

「春・夏・秋・冬」等や二次元的体系をなす「野・谷・海・川」や，基本的色名は，コンテクスト次第で，さまざまな組み合わせの対義語が成立すると考えている。このような反義語は，周辺的な性質であると考えられる。村木 (2005, 2008) は，標準的でない反義語を「開いた反義語」と呼び，５種類に分類している。「二値性」「全体―部分」「二側面」は周辺的な性質として問題ないが，「文脈依存」と「慣用句」は，周辺的反義語として捉えるべきではないと提言した。

山田 (2015) は，アメリカのスーパーのレジで聞かれる ‘Paper or plastic?’ のような従来の三分類に当てはまらない反義語で，文化的な背景をもつものを「文化的反義語」と呼び，「一般的対立」，「国内レベル」，「ローカルな対立」というレベルを想定している。また文化的反義語の特徴は，コンテクストに依存している点であり，文化的背景の知識のスキーマを構成している要素であると考えている。山田の問題点は，文化的要素を重視するあまり，反義語と呼んでいる語自体に反対の意味が含まれない例 ([kid ー boy] [行ってきますーただいま] [medical－recreational]) 等が多く，「反義語」というより，「類義語」あるいは「ペア (セット) 表現」と呼んだ方が適切であるように思われる。

以上から，筆者の意見は，次のようになる。周辺的反義語は，二語の間に何らかの意味的対立を含むことが前提だと考える。村木の５分類では，(11i)～(11iii) の「二値性」「全体ー部分」「二側面」が周辺的反義語である。(11iv)「文脈依存」と (11v)「慣用句」は，語レベルから間接的にでさえ対立する意味が含蓄されないため，反義語ではなく，ペア表現として捉えるべきである。また，山田の文化的反義語も，類義語，あるいはペア表現として扱う。創造的反義語は，概念レベルではあるが，語の意味との関連から，連想や象徴として反義性が感じられる性質であるため，周辺的反義語に含まれるとみなされる。このように考えることで，周辺的ではあるが，「反義語」という語が示す「反対の意味」が必ず存在することが前提になり，標準的反義語と周辺的反義語の関連性がより明確になる。

5. 結論

本研究は，周辺的な反義語の性質を明らかにするために，標準的な反義語との関係から考察した。第２節では，文学の中での反義語の用例を取り上げた。『マクベス』，『二都物語』，『人間失格』，『百人一首』の順で文学作品の反義語を検討した。『マクベス』と『二都物語』は，ほぼ標準的な反義語だけが用いられていたが，『人間失格』では，周辺的反義語と認められないレベルの独特な組み合わせが反義語として扱われていた。また，『百人一首』では，反義語を，標準的，周辺的，創造的と三分類することができた。しかし，創造的反義語は，語の意味を基にして意味的な対立を表現するので，周辺的反義語に含まれるとみなし，反義語は，「標準的」と「周辺的」に二分されると考えた。第３節では，標準的な反義語の３タイプを確認した後，辞典での周辺的な反義語を取り上げた。反義語の典型的な性質について，Cruse (1986) を参照し，その後，国広 (2002)，村木 (2005, 2008)，山田 (2015) の順で，標準的な反義語と周辺的な反義語の区別について検討した。第４節では，周辺的反義語の性質について考察し，結論として，二語の間に何らかの意味的対立を含むことが前提だという考えを提示した。また，創造的反義語は，概念レベルではあるが，語の意味との関連から，連想や象徴として反義性が感じられるため，周辺的反義語に属するとみなした。このように，語の意味に基く「反対の意味」が含蓄されることを前提とすることで，反義語に於ける「標準的」性質と「周辺的」性質の対立が明らかになる。

注

1) 英語では，‘antonyms’ または，‘opposites’ とも呼ばれている。

2) Murphy (2003: 31-32) によると，標準的な反義語の中でも，また非標準的な反義語の中でも，ある反義語は他の反義語より典型的であると感じられることが分かっている。Herrmann et al. (1986) の実験によると，例えば，[love－hate] ([愛ー憎悪]) は，[big－little]([大きいー小さい]) より反義語として良い例だ

と判断されている。

[3] 参考にした辞典は,『活用自在反対語対照語辞典』(2006),『三省堂反対語対立語辞典』(2017),『反対語対照語辞典』(1998) の３冊である。

[4]「罰」の項には [罰ー 罪] だけでなく, [罰ー賞/ほうび] も挙げられている。

[5] 四季（春夏秋冬）の反義語を調べると,『活用自在反対語対照語辞典』『三省堂反対語対立語辞典』は , [春ー秋] のみが挙げられているが,『反対語対照語辞典』は, [春ー秋] [春ー夏] [春ー冬] の三通りが示されている。筆者は「春」にとっての反義語は, [春ー秋] が典型的であると捉え, [春ー夏] と[春ー冬] という対立は周辺的であると判断した。四季の反義語については, 宮地 (1981) を参照のこと。

[6] 森岡 (2008: 47) は「月とすっぽん」は [上等ー下等] という概念を表していると述べている。筆者もそのように解釈している。しかし,『岩波ことわざ辞典』(2002) によると, 月とすっぽんは, 丸い形をしていて少しばかり似ているが, 実際には, はなはだしく異なることのたとえであると説明があっても, 月が上等なもので, すっぽんが下等なものであるということには言及されていない。それに対して,『新明解故事ことわざ辞典』(2007) では,「多くの場合, すぐれた者と劣った者を比較していう」と書かれている。

[7] 沖森他 (2006: 85-86) は, [たてーよこ][山ー川] [紅ー白] などの組み合わせには, 対立が認められないので, 反義関係でなく, 対照関係として扱っている。これらの例の二語は, 隣接的関係として, 互いに独立した対等な関係と考えている。また, 森岡 (2008: 47) は,「鶴と亀」「手と足」「山と川」「椅子と机」「パンとバター」等のような具体名詞の組み合わせは, 同義語でも反義語ではないので, セット語と呼んでいる。具体名詞は, 比喩的, あるいは, 象徴的に用いられた場合に限って, 反義語として成立するのではないかとも述べている。例えば,「狼に羊」は [粗野ー従順],「うさぎと亀」は [油断ー忍耐] というように抽象的な対義概念を具体名詞で印象的に表現している。

[8] これは, [太っているーやせている] という意味が含まれていても, それ以外の表現的内容（情緒的内容）も合致するべきであるということであろう。『ジーニアス英和大辞典』(電子版) によると, 'tubby' は,「おけのような（形をした）; 《略式》〈人などが〉ずんぐりした,太った」という意味なので,「太っている」という意味以外に,「おけのような/ずんぐりした」も表している。また, 'emaciated' は「やつれた」「やせ細った」という意味であり,「やせた」だけでなく, ネガティヴな内容も意味に含まれている。

[9] 色に関して, 柴谷 (2008 : 73) は, 基本色名を「あか」「あお」「しろ」「くろ」の４つの色名だと仮定し, そのシステムにかんして, 基本色の複合語の可能性の観点から考えている。「あおぐろい」「あかぐろい」「あおじろい」は可能な複合であり,「あかあおい」「しろくろい」「しろあおい」は不可能な複合語である。つまり, 下に示すようなシステムであり,「あか」と「くろ」, また「あお」と「しろ」が直接対立しないのである。

あか　ー　あお
　｜
しろ　ー　くろ

上から分かる通り,「あお」と「くろ」には , ペアが見当たらず, その他は,「赤鬼」:「青鬼」,「赤信号」:「青信号」,「白目」:「黒目」,「白星」:「黒星」,「赤味噌」:「白味噌」,「紅組」:「白組」などの対立がある。

[10] Cruse (1986: 258) は, 英語の [blackーwhite] の反義語は認めているが, 'red' 'blue' 'green' 'yellow' には反義語がないと述べている。

[11] 山田 (2016) は, 反義語を「段階的」(gradable),「相補的」(complementary),「方向的」(directional) に３分類し, 方向性をさらに「逆方向」(reversives：例 [upーdown] [pullーpush] [beginーstop]),「両対極」(antipodals：例 [topーbottom] [entranceーexit]),「逆関係」(converses：例 [aboveーbelow] [buyーsell] [husbandーwife]) に下位分類している。

[12]『英語談話表現辞典』(2007) を参照のこと。

[13] ニュースの中で, コンテクストに依存した例で, このような反義語は, 'contextually constructed pairs'

(Jones et al. 2012), また, 'constructed opposites' (Jeffries, 2010)とも呼ばれていると, 山田(2016:160)は指摘している。

[14] 山田は, Jones et al. (2012) に従い, [old－new] [good－bad] などを 'canonical antonym'とみなしている。

参考文献

池上嘉彦　1982.「語彙の体系」 佐藤喜代治（編）『講座日本語の語彙第 1 巻　語彙原論』205-223 .　明治書院, 東京.

沖森卓也・陳力衛・木村義之・山本 真吾　2006.『図解 日本語 』 三省堂, 東京 .

清海節子　2011.「なぞなぞに使用される反義語の考察」『駿河台大学論叢』42: 87-107.

清海節子　2018.「反義語の分類と用例―『百人一首』に於ける反義語を考察する―」『駿河台大学論叢』56: 39-59.

国広哲弥　2002. 「類義語・対義語の構造」 飛田良文・佐藤武義（編）『現代日本語講座第 4 巻 語彙』152-171, 明治書院, 東京.

柴田武　2008.「色名の語彙システム」宮地裕・甲斐睦朗（編）(2008c), 70-74.

鈴木日出男・山田慎一・依田泰　2012. 『原色小倉百人一首』文英堂, 東京 / 京都 .

太宰治　1988.『人間失格　グッドバイ』 岩波文庫（緑 90-4）

宮地敦子　1981.「春夏秋冬―対義語の意識―」『言語生活』(352), 56-60.

宮地裕・甲斐睦朗（編） 2008a. 『「日本語学」特集テーマ別ファイル　普及版　意味 1』明治書院, 東京.

宮地裕・甲斐睦朗（編） 2008b. 『「日本語学」特集テーマ別ファイル　普及版　意味 3』明治書院, 東京.

宮地裕・甲斐睦朗（編） 2008c. 『「日本語学」特集テーマ別ファイル　普及版　意味 4』明治書院, 東京.

村木新次郎　2002.「意味の体系」 北原保雄（監修), 齋藤倫明（編）『朝倉日本語講座 4 ：語彙・意味』54-78, 朝倉書店 , 東京 .

村木新次郎　2008.「対義語の輪郭と条件」宮地裕・甲斐睦朗（編）(2008b), 81-93.

森岡健二　2008. 「対義語とそのゆれ」宮地裕・甲斐睦朗（編）(2008a), 45-52.

山田政通　2015. 「文化的反義語の試案」『拓殖大学語学研究』133: 149-172.

Cruse, Alan, D.　1986.　*Lexical Semantics*. Cambridge: Cambridge University Press.

Cruse, Alan, D. 2000.　*Meaning in Language: An Introduction of Semantics and Pragmatics*. Oxford and New York: Oxford University Press.

Dickens, Charles.　2010.　*A Tale of Two Cities*. (Kindle 版) Amazon Services International. (チャールズ･ディケンズ , 『二都物語 01 上巻』(Kindle 版) 1936. 佐々木直次郎訳　Amazon Services International)

Herrmann D.J., and R. Chaffin.　1986. 'Comprehension of semantic relations as a function of the definitions of relations.' In F. Klix and H. Hagendorf (eds.). *Human Memory and Cognitive Capabilities*,　Amsterdam : Elsevier, 311-19.

Jeffries, Lesley. 2010. *Opposition in Discourse: The Construction of Oppositional Meaning*. Continuum International Publishing Group: London and New York.

Jones, Steven. 2002. *Antonymy; A Corpus-based Approach*. Routledge: London and New York.

Jones, Steven, M. Lynne Murphy, Carita Paradis and Carolline Willners. 2012. *Antonyms in English: Construals, Constructions, and Canonicity*. Cambridge: Cambridge University Press.

Leech, Geoffrey N.　1981. *Semantics*, 2nd edn. Harmondsworth: Penguin.

Lyons, John. 1977.　*Semantics*, 2 vols. Cambridge: Cambridge University Press.

Murphy, Lynne.　2003.　*Semantic Relations and the*

Lexicon. Cambridge: Cambridge University Press.
Shakespeare, William. 2007. *Macbeth*.
(Kindle 版) Amazon Services International.
(シェイクスピア,『マクベス』 2008. 福田恆存訳 新潮社文庫)

辞典

『岩波ことわざ辞典』 時田昌瑞 2002. 岩波書店.
『英語談話表現辞典』 内田聖二(編) 2009. 三省堂 .
『活用自在反対語対照語辞典』 第4版 反対語対照語辞典編纂委員会(編) 2006. 柏書房 .
『広辞苑 第七版』(電子版) 新村出(編) 2018. 岩波書店 .
『三省堂反対語対立語辞典』 三省堂編修所(編) 2017. 三省堂 .
『ジーニアス英和大辞典』(電子版) 小西友七・南出康世(編) 2001-2008. 大修館書店 .
『新英語学辞典 』 大塚高信・中島文雄(監修) 1982. 研究社 .
『新全訳古語辞典 』 林巨樹・安藤千鶴子(編) 2016. 大修館書店 .
『新版ことば遊び辞典』 鈴木棠三(編) 1981. 東京堂出版 .
『新明解故事ことわざ辞典』 三省堂編修所(編) 2007. 三省堂.
『反対語対照語辞典』 第 6 版 北原保雄・東郷吉男(編) 1998. 東京堂出版 .